



平成28年8月4日(木)
国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所

記者発表資料

平成28年度 第2回 那珂川・久慈川渇水調整協議会の開催結果について

1. 開催状況

日時 :平成28年8月4日(木) 10時00分から11時30分まで

場所 :常陸河川国道事務所 2階 会議室

協議会構成 :国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所、茨城県、栃木県、福島県
及び関係市町村

協議会の目的 : 那珂川・久慈川の渇水時における関係利水者間の水利使用の調整を円滑に行い、もって合理的な水利使用の推進を図ることを目的とする。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・
茨城県政記者クラブ・栃木県政記者クラブ・福島県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
茨城県水戸市千波町1962-2 電話 029-240-4061(代表)

ふくしちやう かせん	みやざき かずゆき
副所長(河川)	宮崎 和幸
けんせつせんもんかん	かとう さとし
建設専門官	加藤 聡

別紙

現状と今後の対応

【那珂川】

1. 現状

- (1) 那珂川流域での7月の月間雨量は94 mm で近年10カ年平均230 mm の41%しかなく、少ない状況であった。
- (2) 那珂川の野口地点の流量は、8月1日午前9時時点で34 m³/s まで低下した。
- (3) 流量減少に伴い、下流域において塩分遡上が確認されたことから、右岸11.8 km の大杉山揚水機場では、中断していた渡里台地土地改良区農業用水の取水機場からの振替取水を8月2日に実施した。

2. 今後の見通し

- (1) 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報：7月30日～8月29日）によると、降雨量について、「平年並」の確率は40%、「多い」の確率は30%となっている。
- (2) 農業用水や都市用水の水利用の需要期であるため、引き続き河川からの取水量は多い状況が続くものと予想される。

3. 今後の対応

- (1) 大杉山揚水機場から取水する千波湖土地改良区農業用水は、今後とも、塩分遡上により取水困難な状態が続く場合には、その回避策として、上流右岸18.8 km に位置する渡里台地土地改良区農業用水の取水機場から振替取水を行う。
- (2) 今後さらに流量が減少し、塩分遡上が進行して各利水者において取水障害が頻繁に発生するような状況となった場合は、改めて当協議会を開催し、取水制限を検討するものとする。
- (3) 各利水者は、相互に協力し円滑な水運用が図られるよう、引き続き最大限の努力を行うものとする。

4. その他

- (1) 緊急連絡体制の整備
- (2) 都市用水については、必要に応じて、節水と水質汚濁の防止について、引き続き関係住民にチラシ、パンフレット、広報車等により呼びかけを行うものとする。
また、大口需要者については、節水の協力要請を行うものとする。

【久慈川】

1. 現状

- (1) 久慈川流域での7月の月間雨量は43 mm で近年10年平均190 mm の23%しかなく、極端に少ない状況であった。
- (2) 久慈川の榊橋上地点の流量は、8月2日午前9時時点で4 m³/s まで低下した。
- (3) 流量減少に伴い、下流域では塩分が遡上したことから、左岸6.3 kmの日立市水道取水口では仮締切堤を設置し対応している。

2. 今後の見通し

- (1) 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報：7月30日～8月29日）によると、降水量について、「平年並」の確率は40%、「多い」の確率は30%となっている。
- (2) 農業用水や都市用水の水利用の需要期であるため、引き続き河川からの取水量が多い状況が続くものと予想される。

3. 今後の対応

- (1) 日立市水道の取水が困難な場合は、今後とも河道内に仮締切堤を設置し、取水位確保と塩分遡上防止の対策を講ずる。
- (2) 各利水者は、相互に協力し円滑な水運用が図られるよう、引き続き最大限の努力を行うものとする。
- (3) 今後さらに著しく流況が悪化した場合には、改めて当協議会を開催し、今後の対応について協議するものとする。

4. その他

- (1) 緊急連絡体制の整備
- (2) 都市用水については、必要に応じて節水と水質汚濁の防止について、引き続き関係住民にチラシ、パンフレット、広報車等により呼びかけを行うものとする。
また、大口需要者については、節水の協力要請を行うものとする。